



# Voices ヴォーリスだより



100th  
Anniversary  
Since 1918



特集

公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリス記念病院  
開院100周年

巻頭言

「我らのアイデンティティー」

公益財団法人 近江兄弟社

理事長 三ツ浪 健一



Vol. 133

2018年7月発行

基本理念

キリスト教の「隣人愛」と「奉仕」の業を、医療を通して実践します。  
— 私たちは、基本理念を大切にします。 —



# 我らのアイデンティティー

公益財団法人 近江兄弟社  
理事長 三ツ浪 健一



ヴォーリス記念病院は、2018年5月25日に、その前身である「近江療養院」開院から数えて創立100周年を迎えました。これを機に、病院と在宅サービス部門では2017年10月から、KALOKAGA（「美と善」の意）代表の辻裕貴氏のアドバイスを受けながら、アイデンティティー委員会を結成し、部門別に我らの病院と在宅サービス部門のアイデンティティー、すなわち独自性、の構築を目指しました。以下には、医師の立場で考えた我らのアイデンティティーについて述べてみます。

これからのアイデンティティーを確立するために、まず当院の歴史的経路と遺産を検証しました。これにより、当院は、社会の中で生活する場を失った結核病客・病友が何とか癒やされるよう、医療には素人で、祈るよりほかなかったウィリアム・メレル・ヴォーリズが、10年間以上祈りもとめたおかげで実現した病院であることを再確認しました。1963年5月に発行されたパンフレット「近江サナトリウム」には次のように書かれています。「10年余の祈りと準備の後、近江サナトリウムは1918年病める人々のために開設された。・・・それはメンタルおよびスピリチュアルな健康を重要視した最も進歩的な治療法を行ってきた。それはキリスト教的奉仕を行うことを第一義としている。」メンタルおよびスピリチュアルな健康を重要視するには、病める人の「こころ」と「たましい」にしっかりと寄り添うことが必要ですので、この記載から、当院が継承・発展させるべき遺産は、「寄り添う力」と「祈る力」であると考えられました。

次に、遺産の破壊・超克（乗り越える）について考えてみました。当院に限らず、医学は疾患志向型の細分化・専門化により発展してきましたが、それは必ずしもメンタルおよびスピリチュアルな健康にはつながりませんでした。従って、それを乗り越える患者志向型医療の確立が必要と考えられました。

さらに遺産の復活についても考えてみました。近代医学の父と言われるウィリアム・オスラー（1849－1919）は医学におけるサイエンスとアートの重要性を強調しましたが、ともすると後者は忘れられがちです。音楽に聴き入るように、病める人の物語を「傾聴」して、音楽に感動するように、病める人の気持ちに「共感」できる力が、「寄り添う力」として最も重要と考えられました。

これらの遺産の継承・発展、超克、復活により、100年を超えた今後、我々が創造できる遺産とはどんなものでしょうか。それはおそらく「祈りを大切にする地域包括ケアシステムの構築」だと思われます。

医療・看護・介護・リハビリテーションなどの専門家がそれぞれの祈りを持って本人や家族の祈りに寄り添う姿が、我々のアイデンティティーのように思われます。みんなで心と力を合わせて前進したいものです。



# 礼拝堂 より

## キリスト教の歳時記

### 第4回 夏季学校（キャンプ）

チャプレン 安部 勉

もうすぐ夏休み。皆さんも子どもの頃「キャンプ」に行かれた方もおられると思います。

今はレジャーとして楽しんでおられる方も多いでしょう。

キャンプといえばプロ野球のシーズン前に行われ練習のことを言うこともありますね。

キャンプは「自然の中で一時的に生活すること」（日本キャンプ協会）と定義しています。キャンプにはいろいろな形式があります。キリスト教の教会も夏休みに「夏季学校」としてキャンプを企画するところがあります。自然の中で共に聖書を読み、様々な活動を通して心身共に成長することを教会やYMCAのキャンプでは願っています。

ヴォーリズさんが日本に来たのはYMCAからの紹介でしたが、YMCAが日本で最初に行ったキャンプは1920年、六甲山麓でのキャンプでした。その目的は「精神・知性・身体のバランスのとれた『全人教育』を行なう場」としてでした。ちなみにヴォーリズさんは1915年箱根御殿場にあるYMCA東山荘という夏季学校施設を設計しています。

当院もヴォーリズの時代から身体だけでなくこころも魂（精神）も健やかになることを目指す医療を行ってきました。「全人医療」と呼ばれたこともありました。自然の中で神を思い、友と語り合い、共に汗を流し、食事を共にすることは私達を成長させる、私達の医療もキャンプのような環境の中にあったことを思います。

## トピックス

### 医療安全管理室

医療安全管理責任者（専任）を配置し、安全管理に関する院内の体制の構築、委員会等の各種活動の円滑な運営を支援しています。また、医療安全に関する職員への教育・研修、情報の収集と分析、対策の立案、事故発生時の対応、再発防止策立案、発生予防および発生した事故の影響拡大の防止等に努める。これらを通し、安全管理体制を組織内に根づかせることで、安全文化の醸成を促進する様取り組んでいます。

1. 医療安全管理責任者（専任）の役割
  - 1) 安全管理体制の構築
  - 2) 医療安全に関する職員への教育・研修の実施
  - 3) 医療事故への対応と再発防止
  - 4) 安全文化の醸成
2. 医療メディエーター(医療対話推進者)
  - 1) 患者-医療者間の関係再構築の支援



医療安全管理室  
室長 木下 ゆかり

# 開院100周年記念 特集

## 5月27日

### 開院百年記念式典 ～ 礼拝・式典 ～ 1918年 近江療養院開設



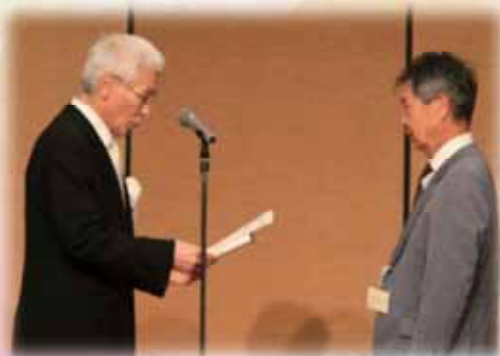
5月27日、ホテルニューオウミに於いて、日頃お世話になっている皆様をお招きし、開院100周年記念式典を挙行了しました。

皆様のお出迎え



記念講演 榎本 真聿 先生

日頃からお世話になっている4団体へ  
感謝状贈呈



司会



式典は、当院チャプレン安部勉司式による開会礼拝で始まり厳粛な雰囲気の中、式典へと移りました。ご来賓の祝辞を受け賜り、次に日頃からお世話になっている4団体への感謝状贈呈を致しました。記念講演会は「地域包括ケア時代」と題して日本医師会総合政策機構客員研究員榎本真聿先生にご講演頂きました。患者さんや地域住民の真のニーズを明確にし、皆さんの声が医療に反映される環境をつくることの重要性、そのために如何に皆さんと接点を持てる環境を作るかの大切さ、また、皆さん自身に「してもらえる医療」から「自ら参画していく医療」という意識改革の必要性などを唱えられました。そして、当院の今までの取り組みが、これからの滋賀県の医療・介護・福祉の在り方にマッチしている、時代のニーズにあっていないことを訴えられ、スタッフは当院の方向性が間違いではなかったことの確信を得、自信をもって取り組んでいきたいと多くのスタッフが感銘を受けました。

講演を聞いたスタッフは将来を担うスタッフたちに当院の大切な理念、そして創立者ヴォーリスの精神を引き継がなければならないと再確認した時となりました。

# 5月27日 開院百年記念式典 ～ 祝賀会 ～

## レクレーションルーム



第二部は、滋賀県知事、元理事長より挨拶を頂き、オープニングセレモニーとしてピアノアンサンブルの演奏、ボランティアのテーマソングのご披露などパーティーを盛り上げてくださいました。諸先輩方は旧交を暖める機会となり和やかな歓談の時でした。

滋賀県知事より、ご挨拶頂きました。



近江療養院の歌など、4曲演奏下さいました。



ボランティアさんによるヴォーリスソング披露



司会



アイデンティティ発表



皆様からのお祝いを頂き、101年目に向けて新たな思いを決意するひと時となりました。

# アイデンティティの構築

## ～ 次の世紀に向けヴォーリス記念病院がめざすこと ～

創立100周年を迎え、「『ヴォーリス記念病院とは』どのような病院か？」を振り返り、次世代に向け今後の当院のあり方を明確にするため、(アイデンティティ)構築を目指しました。



作業のテーマ

“継承すべきこと”、  
“改めるべきこと”  
“破壊し、あらたに創造すること”

医局、看護部、診療技術部、事務部、在宅部門の各部門ごとに検討し、まとめました。この作業を通して、あらたな病院の「あり方」を共有し、一体感をもって歩むことが目的です。

在宅サービス部門 101年目の目標 - 遺産の継承・発展

ヴォーリスのキリスト教精神の継承をしながら、  
「その人らしい生活」を大切に支援



事務部 101年目の目標 - 遺産の破壊・超克(乗り越える)

# 点から線へ、線から円へ (Teamwork)

病院を支える「ぶどうの木」となり、患者さん、職員、地域社会との「つながり」を心から大切に。地域の皆様が「豊かな実を結び」安心して暮らせる社会に貢献できる事業体を目指します。



何のために  
私たちはあるのか？  
理念に基づき  
何をを目指すのか？  
ビジョンをどのように  
実現するのか？

診療技術部 101年目の目標

東近江圏域、特に近江八幡市を中心とした地域の医療・介護・福祉のハブ病院として機能し、診療技術部はこの機能のひとつとして地域に貢献する

2016年度診療技術部目標



看護部 遺産の破壊・超克(乗り越える)

ウォーリスが目指した「遺産」

病む人も病む人を支える人も隣人愛の精神で関わることであった。



「遺産の破壊」

規律やシステムが重視され変革が求められ、ケアの基本である隣人愛の精神が置き去りにされている。



めざすべきケアの目的は人間の健康と、自己実現

自立した生き方の実現  
それは……



ケアの原型論(超克)  
配慮・心遣い・気配り  
注意・世話





## 鶏肉の梅干し風味の煮物

エネルギー 102kcal    蛋白質 7.2g    脂質 5.8g (1人分)

〈材料 -2人分-〉

・鶏ササミ	3本	(A)	
・梅干し	1個	・だし汁	3/4カップ
・大葉	1/2束	・みりん	大さじ1.5杯
・ねぎ	1/4本	・濃口醤油	大さじ1杯
・片栗粉	適量	・料理酒	大さじ1杯



〈作り方〉

- ①鶏ササミは筋を切り、一口大に切る。
- ②梅干しの種を取り、実を包丁でたたく。
- ③青じそはせん切り、ねぎは5cm長さに切ってから縦6つ割りに切る。
- ④鍋に(A)を煮立て梅干しを加える。
- ⑤鶏ササミに薄く片栗粉をまぶし④に入れる。
- ⑥鶏ササミが煮えたらねぎを加えて火を通し、器に移してから青じそをのせる。

もう夏本番ですね。夏バテになどなっておられませんでしょうか。暑くなってくるとやっぱりサッパリとした食べ物が食べやすくいいですね。今回はサッパリとしていて夏バテにも効果のある梅干しについて紹介させていただきます。

梅は古くから日本人に愛されてきた食材の一つです。その歴史は古く日本に梅の記載が現れるようになったのは8世紀の中頃に中国から渡来したと言われていました。当時は食材としての利用は少なく、舶来の珍しい「花」として多くの文人に愛でられていました。万葉集には多くの梅の歌が読まれ、これが平安朝にはさらに愛好されるようになりました。現代では花と言えば桜ですが当時では桜よりむしろ梅の花を指すほどであったそうです。平安時代の政治家「菅原道真」や「羽柴秀吉」など歴史上の偉人達も梅の愛好家として様々な文書に記録が残されています。

こんな梅ですが食用としても体に良い食べ物として古来から知られています。特筆すべきはクエン酸やリンゴ酸などの有機酸が多いことです。特にクエン酸は乳酸の代謝を促進し疲労回復に効果があります。また、梅の酸は防腐作用も強く食材の腐敗が早い夏場には重宝します。おにぎりに入れたり酢の中に梅干しを混ぜた梅肉酢で魚を和えると生魚にあたる心配も減ります。疲労回復に防腐作用と夏場には嬉しい食材と言えるでしょう。

今回はサッパリとした煮物を紹介させていただきました。

まだまだ続く夏本番に負けないように梅で疲労回復と食欲増進を図ってみてはいかがでしょうか。





## ◆糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ



シリーズで偶数月の木曜日に糖尿病、生活習慣病に関して、実際の食事をご用意し、病気の知識や治療法に関する教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日時 8月2日（木）12：00～13：30

場所 新館研修室（病院内）

講師 薬剤師

※主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申込みが必要です。



## ◆ 近江八幡市介護予防拠点事業

## ヴォーリス介護予防教室のご案内（平成30年度）



テーマ：『高齢者の生活と健康について』（年間5回）

回数	月日	担当	内容（仮）	講師予定
2	7/26	ヴォーリス記念病院	「お薬の管理はできていますか？（仮）」	ヴォーリス記念病院 薬剤師 新庄 安宏 氏
3	9/27	在宅サービス部門	「自分の弱点を知り、強みを維持させよう」	看多機 友愛の家ヴォーリス 作業療法士 戸田利嘉子 氏
4	11/22	ヴォーリス老健センター	「折り紙教室 Part X IV」	ヴォーリス老健センター 施設長 鈴木 輝康 氏
5	2/21	ヴォーリス記念病院	「健康チェック（仮）」	ヴォーリス記念病院 看護部 吉崎 直美 氏

①対象者 おおむね65歳以上の方 定員：30名

②場 所 アンドリュース記念館（旧Y M C A会館）

近江八幡市為心町中31番地（近江八幡教会の隣）

③参加費 無料

④申し込み 往復ハガキで①住所②氏名③年齢④連絡用電話を記入の上

近江八幡市北之庄町492 ヴォーリス記念病院内

介護予防教室係 まで（単月の申し込みも受付します）

お問い合わせ：ヴォーリス記念病院内 ヘルパーステーション

担当 田井中（TEL 32-7130・FAX 36-5458）まで



# 病院外来のご案内

外来診察担当医表(7月1日現在)

担当医師が変更となっている場合もございますので、お問合せ下さい。(★予約なし)

■ 受付開始時間：8時30分 診察開始時間：9時

	月	火	水	木	金	土
一診	総合診療科 循環器科 三ツ浪 健一		総合診療科 循環器科 三ツ浪 健一	循環器科・内科 馬 淵 博	総合診療科 循環器科 三ツ浪 健一	循環器科・内科 寺尾 良一
二診	糖尿病・内科  岡本 拓也		消化器科・内科  荒木 克夫		消化器科・内科  村田 雅樹	<第1・3・5週> 消化器科・内科 荒木 克夫 <第2・4週> 呼吸器科・呼吸器外科 北野 晴久
三診		内科・神経内科 穂山 勝久	糖尿病・腎臓病 西教 美千子	呼吸器科 呼吸器外科 ★長崎 二三夫	糖尿病・腎臓病 西教 美千子	糖尿病・腎臓病 西教 美千子
四診	総合診療科・外科 消化器科・肛門科 周防 正史	総合診療科 脳神経外科 深見 方博		外科・消化器科  周防 正史		総合診療科・外科 消化器科・肛門科 周防 正史
五診	呼吸器科 呼吸器外科 長崎 二三夫	呼吸器科 呼吸器内科 上 榎 潔		整形外科 ★仮元 幹雄	外科・呼吸器科 呼吸器外科 北野 晴久	整形外科 ★第4週 輪番制
緩和		<第1・3・5週> 初診：高橋 恵子 再診：奥野 貴史 <第2・4週> 奥野 貴史			奥野 貴史	
午後診療		乳腺外来 13:30 ～15:00 瀧 俊彦	もの忘れ外来 12:30 ～14:45 西教 美千子	乳腺外来 13:30 ～15:00 瀧 俊彦		

## 入退院支援センター

患者様やご家族様に住み慣れた生活の場で、安心して療養し生活を送って頂けるようサポートします！

- ・健康保険、介護保険等の社会保障制度について
- ・在宅での生活、介護についての不安
- ・施設の入所や利用について
- ・地域の病院・開業医の皆様からの受診・入院依頼

お気軽にご相談ください！※センターは正面玄関入って左側でございます。

TEL (0748) 32-5211 (代) / FAX (0748) 36-5412 (直)



〒523-8523 滋賀県近江八幡市北之庄町492

TEL : 0748-32-5211 (代)

FAX : 0748-32-2152 (代)

HP : [www.vories.or.jp/](http://www.vories.or.jp/)

### <アクセス>

- ・名神高速道路竜王ICより約30分
- ・JR琵琶湖線近江八幡駅下車  
北口駅前より車で約10分近江バスで長命寺行き
- ・シャトル（無料送迎）バス

公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリズ記念病院